

製品体験レポート



抵抗性のついたスリップスが大きな問題に。
アグリメックの速効性には驚いたね。

熊本県熊本市 志賀浩二さん

JA熊本市管内のなす部会副会長を務め、地域のなすづくりのリーダー的存在。現在は九州を中心に栽培される長なす「筑陽」を50aのほか、茎ブロッコリーのスティックセニョールを15a作付。



4種の殺虫剤をローテーションしても効かず

有機質肥料を中心に栽培する志賀浩二さんのなすはアクが少なく、生でも食べられるほど甘みがあるのだとか。そんな“なすづくりの名人”でも、3年前までは「打つ手が無い」というほど頭を悩ませる問題がありました。

それが、アザミウマをはじめとする害虫。この地域のなすづくりにおいてはハダニ、タバココナジラミも問題になっているとのことですが、なかでもアザミウマは数年前から従来の薬剤に対して抵抗性がつき、秀品率の低下に頭を悩ませていたといいます。

「3年前までは4種類ほどの殺虫剤をローテーションで使っていたけれど、どの剤にも抵抗性がついてしまってアザミウマを完全には抑えられないでいたんだ。アザミウマになすの実を吸われると、等級が一気に下がっちゃうからね」。

散布した翌日に、葉裏の抵抗性アザミウマを撃退

JA熊本市でも抵抗性のついたアザミウマは大きな問題に。そして2014年、新剤として登場したのがアグリメックでした。

「これまでもいろいろな新剤を試してきましたが効果のほどはイマイチでしたので“今度こそは”という期待を込めて導入しました」と語るのはJA熊本市営農センターの河野主任。一方、初めてアグリメックを使用した志賀さんは、実際の結果をこのように振り返ります。

「1000倍液を1反あたり200ℓほどまいたんだけど、あれほど苦労したアザミウマが翌日には葉の裏で死んでいるのを確認できた。この速効性には驚いたね。去年からは、50aすべての圃場で使ってるよ」。

抵抗性のついたアザミウマだけでなく、ハダニやタバココナジラミといった問題害虫も幅広く抑えたアグリメック。JA熊本市の河野主任も「害虫への効果はテキメン。どの害虫に対しても、アグリメックを使っておけば安心と考えています」と評価してくださいました。



syngenta®

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階
<http://www.syngenta.co.jp>



農薬をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●薬剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

※2016年3月現在の情報です。